

<通期>
決算補足説明資料
2019年1月期

<JASDAQグロース 証券コード：4764>

2019年3月14日
SAMURAI&J PARTNERS株式会社

目次

- ✓ 2018年1月期からの主な取組み P.3~
- ✓ 2019年1月期の業績結果 P.7~
- ✓ 事業別2019年1月期の取組み P.15~
- ✓ APPENDIX P.24~

2018年1月期からの主な取組み

Our greatest glory is not in never failing, but in raising up every time we fail.

1. 主な取組みとトピックス

再生期

転換期

年月	主な取組み	トピックス
2017年 2月		改善報告書の提出
3月		臨時株主総会にて役員を刷新
	不採算事業の撤退	
5月		商号変更
	固定資産の売却（神田）	
6月	収益不動産の取得（心斎橋）	
8月		改善状況報告書の提出 東京オフィス移転（虎ノ門）
10月	子会社化（SAMURAI証券）	
11月	第三者割当増資の実施（約7億円）	
	子会社設立（SAMURAI ASSET FINANCE）	
12月	第三者割当増資の引受（約2億円）	
2018年 1月	子会社化（SAMURAI TECHNOLOGY）	
5月		本店移転（港区）
	第三者割当増資の引受（約2億円）	
6月	第三者割当増資の実施（約15億円）	
	クラウドファンディングに係る業務提携	
7月	第三者割当増資の引受（約11億円）	
	海外子会社設立	
9月	子会社間の合併	



2. 主な取組み-①グループ組織体制の構築

- ✓ 当社グループは、投資銀行事業・ITサービス事業において、**各社の専門領域に特化した企業体制**を構築し、各社独自の強みを活かしつつ、相互に連携しながら事業を展開。

専門領域に特化した企業体制


 SAMURAI & J PARTNERS

SAMURAI & J PARTNERS

- ✓ 投資銀行事業を展開
- ✓ SAMURAI&J PARTNERSグループ全体での事業運営・推進


 SAMURAI 証券

SAMURAI証券

- ✓ 第一種・第二種金融商品取引業
- ✓ クラウドファンディングサイト「SAMURAI」を主軸としたファンド組成を実施


 SAMURAI
ASSET FINANCE

SAMURAI ASSET FINANCE

- ✓ 貸金業・宅地建物取引業
- ✓ 不動産担保、株式担保などのスキームによる融資活動を実施


 SAMURAI TECHNOLOGY

SAMURAI TECHNOLOGY

- ✓ ISO27001認証取得
- ✓ 受託開発からオリジナルパッケージ提供まで幅広くITソリューションを提供

3. 主な取組み-②内部管理体制の強化

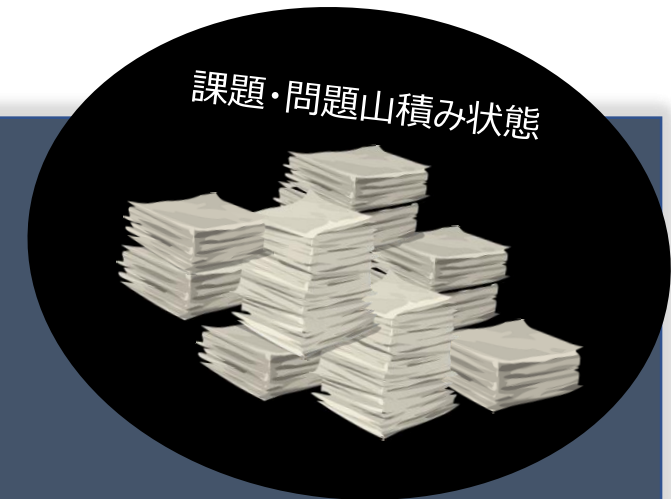
✓ 2017年3月に役員を刷新し、**上場廃止の危機状態から企業再生**を開始。組織全体の課題を洗い出し、内部監査・内部統制を中心に組織構築の見直し、規程類の整備、会議体の活性化等による**内部管理体制の強化**を実施。

課題カテゴリー	件数
組織	2
枠組み	7
規程	17
手続き	1
運用	4
保管	1
システム	2
合計	34



主な改善項目

- ・内部監査室の設置
- ・内部監査に係る規程の整備
- ・内部監査の実施、監査役等との連携
- ・内部統制に係る規程の整備
- ・内部統制の構築
- ・その他規程の再整備
- ・会議体（経営会議を中心）の活性化
- ・各種権限、責任の明確化 等



上場廃止の危機状態から再生

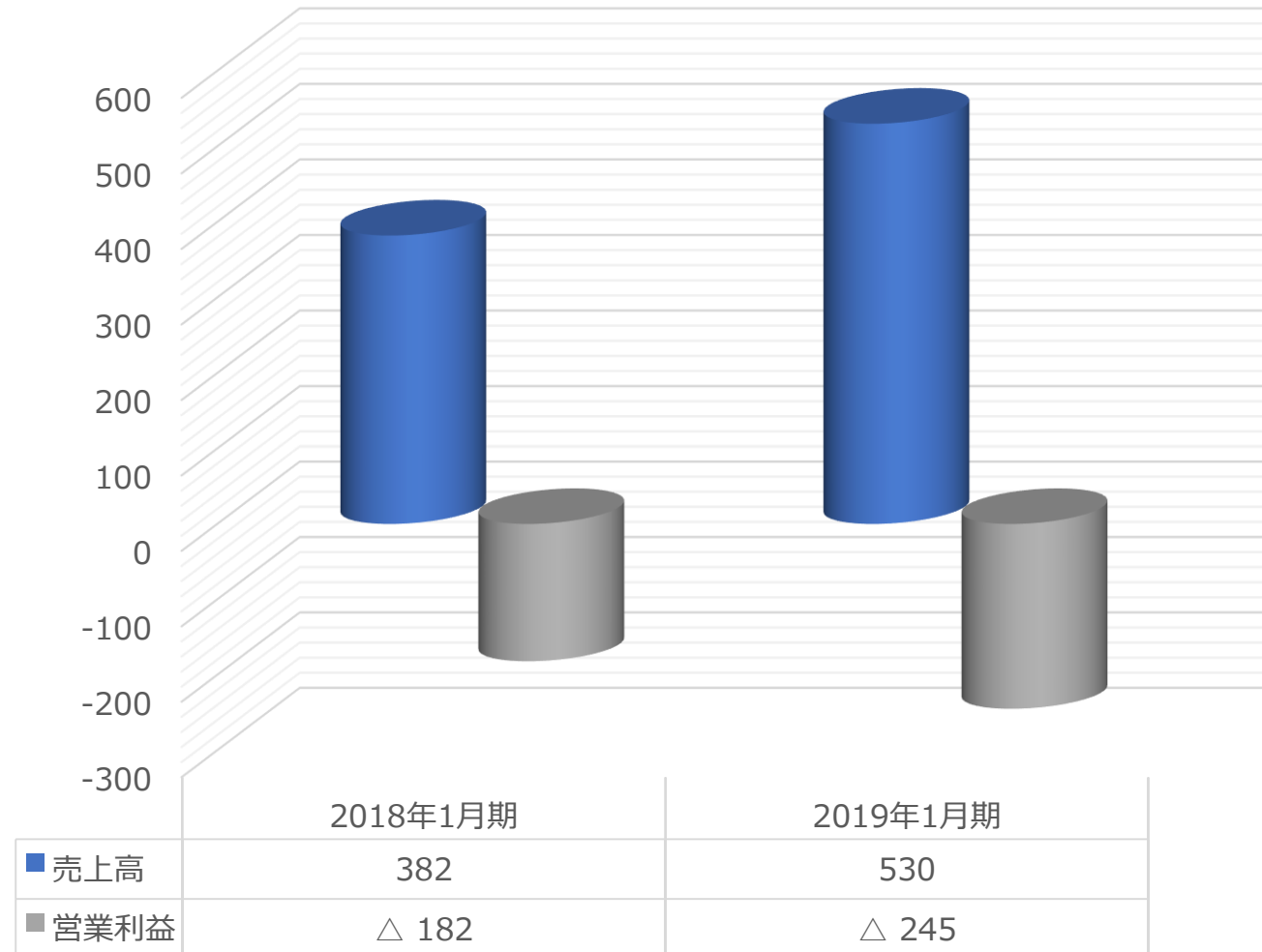
2019年1月期の業績結果

Our greatest glory is not in never failing, but in raising up every time we fail.

売上高・営業利益の推移

- ✓ 2019年1月期の売上高は、530百万円（前年同期比：38.6%増）となり、大幅に拡大。
- ✓ 売上高拡大要因は、**主にM&Aによる連結効果**によるもの。
- ✓ 一方、営業損益は、△245百万円と赤字幅拡大。
- ✓ 赤字幅拡大の主な要因は、投資銀行事業における事業投資活動並びに内部管理体制強化に伴う**先行費用**によるもの。

（単位：百万円）



セグメント別業績推移

- ✓ 2019年1月期のセグメント別の売上高は、投資銀行事業が313百万円（前年同期比：0.5%増）、ITサービス事業が217百万円（前年同期比：195.7%増）と**ITサービス事業の売上高が大幅に拡大**。
- ✓ 営業損益は、投資銀行事業において当初見込んでいた売上高が大幅に縮小した影響により、32百万円の赤字。

（単位：百万円）

		2018年1月期	2019年1月期	増減率
売上高	投資銀行事業	311	313	0.5%増
	ITサービス事業	73	217	195.7%増
合計*		382	530	38.6%増

（注）合計値は、セグメント間の内部売上高調整後の金額

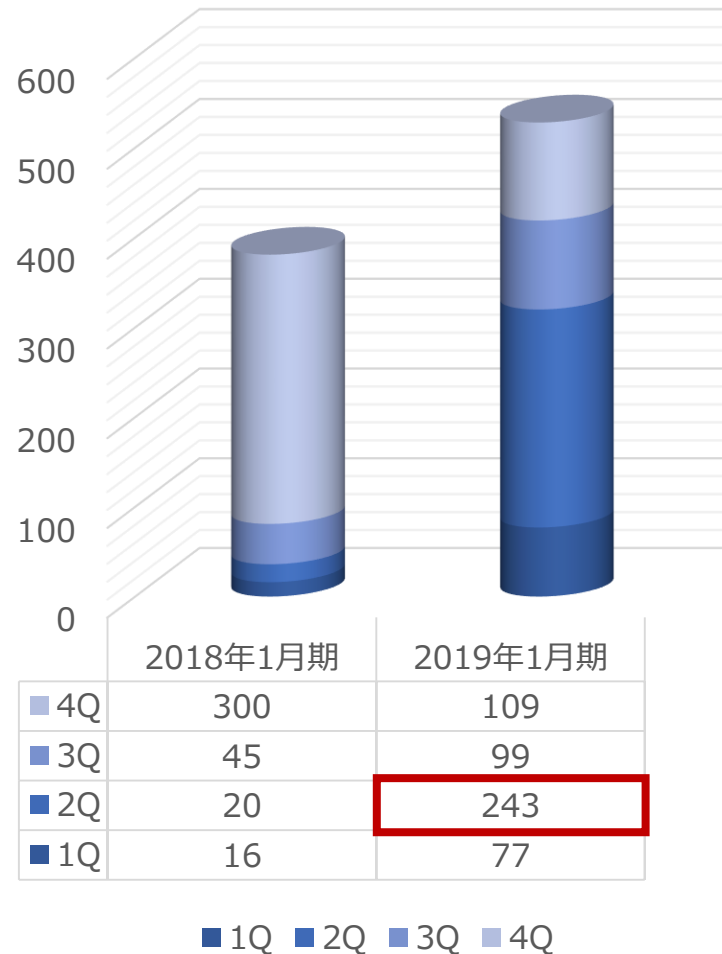
		2018年1月期	2019年1月期	増減率
営業利益	投資銀行事業	39	△32	-
	ITサービス事業	△49	34	-
合計*		△182	△245	赤字幅拡大

（注）合計値は、セグメントに配分していない全社費用等を含む

四半期別業績推移

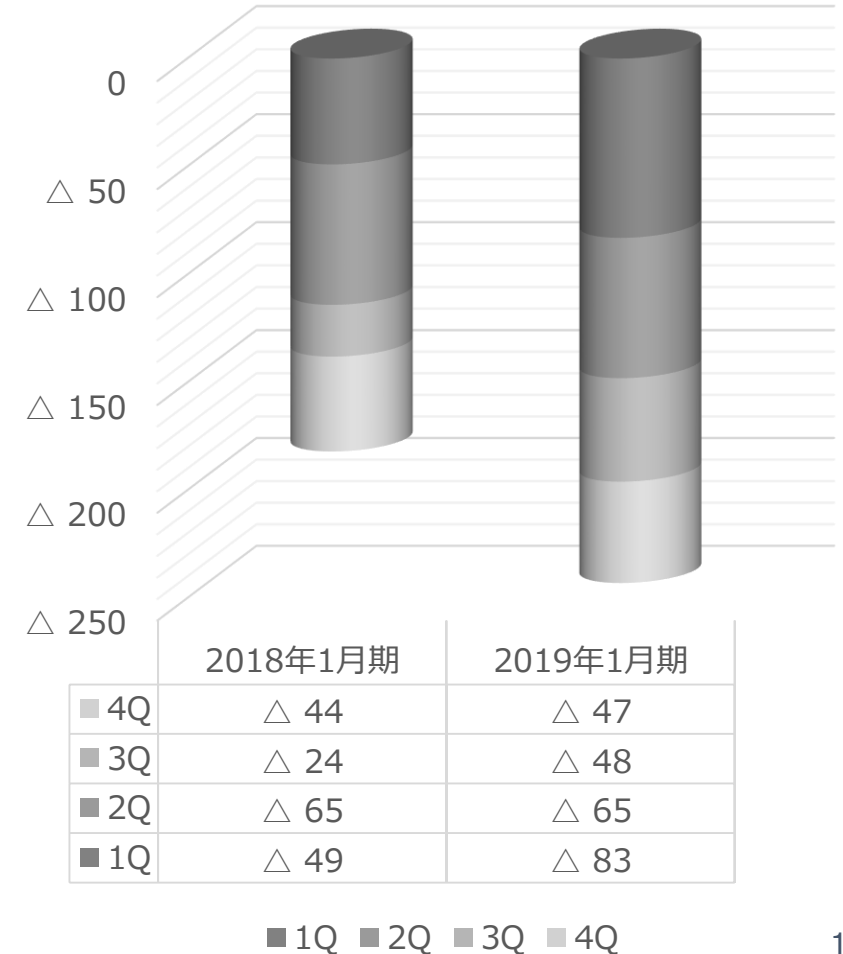
- ✓ 2019年1月期の売上高は営業投資有価証券の売却に伴い、2Qにおいて大きく拡大。
- ✓ 営業損益は、投資銀行事業の事業投資並びに内部管理体制強化による費用が大きく先行。2020年1月期黒字化に向け、取組み中。

売上高



(単位：百万円)

営業利益



(単位：百万円)

財務の状況

- ✓ 2018年6月に実施した第三者割当増資により、2019年1月末の流動資産は約2,029百万円（前年同期比:約1,317百万円増）と増加。
- ✓ 投資銀行事業の取組みにより、営業貸付金約863百万円、営業投資有価証券約287百万円がそれぞれ新たに発生。
- ✓ 子会社におけるのれん等の減損により、（次頁参照）無形固定資産は約35百万円（前年同期比:約379百万円減）。
- ✓ 資本金及び資本剰余金は、約3,223百万円（前年同期比:約1,536百万円増）。

		2019年 1月末	構成 比率	対前期末 比増減額	2018年 1月末
資産	I.流動資産	2,029	75.0%	1,317	711
	内：現金及び預金	772	28.6%	114	658
	内：営業貸付金	863	31.9%	863	0
	内：営業投資有価証券	287	10.6%	287	0
	II.固定資産	675	25.0%	△376	1,052
	内：有形固定資産	592	21.9%	△5	597
	内：無形固定資産	35	1.3%	△379	415
資産 合計		2,704	100.0%	940	1,764
		2019年 1月末	構成 比率	対前期末 比増減額	2018年 1月末
負債・ 純資産	I.負債	495	18.3%	142	353
	流動負債	270	10.0%	168	102
	内：匿名組合預り金	141	5.2%	141	0
	固定負債	224	8.3%	△26	251
	II.純資産	2,209	81.6%	797	1,411
	内：資本金+資本剰余金	3,223	119.1%	1,536	1,687
負債・純資産 合計		2,704	100.0%	940	1,764

子会社における のれん等の減損

- ✓ SAMURAI証券株式会社においてクラウドファンディング分野の業績が当初計画未達となったことから、約307百万円の減損が発生。

SAMURAI証券株式会社におけるのれん等の減損の背景

- 原因 1 : クラウドファンディングの会員数及び投資額拡大を目的とした手数料率引き下げに伴い業績が当初計画に対し未達
※2019年1月期末時点の会員数及び2019年1月期における投資額はいずれも業績計画を上回って推移
- 原因 2 : ソーシャルレンディング業界の定性的な市況環境悪化に伴う将来計画の不確実性

買収時における「のれん」及び「固定資産」等の減損
(約307百万円) が発生

(単位：人)

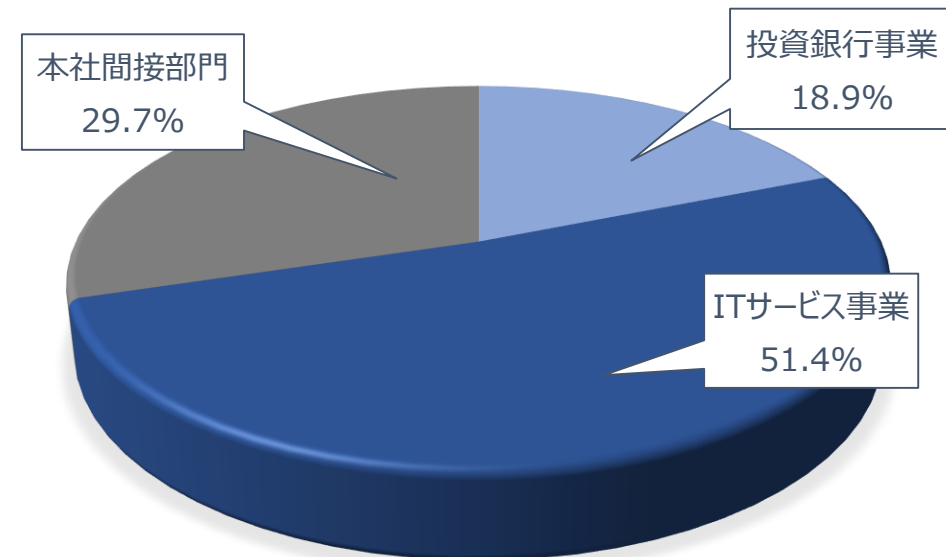
人員構成

- ✓ 2017年1月末以降、M&Aによる子会社化に伴い、人員数は大幅に増加。
- ✓ また、内部管理体制強化により、2019年1月末においては、本社間接部門の人員構成比が増加。

セグメント別*	2017年1月末	2018年1月末	2019年1月末
投資銀行事業	0	8	7
ITサービス事業	9	21	19
本社間接部門	3	6	11
合計	12	35	37

(注) 上記人員は、役員を除いたものであり、各セグメント事業にはバックオフィス人員を含む

2019年1月末におけるセグメント別人員構成



株主の状況

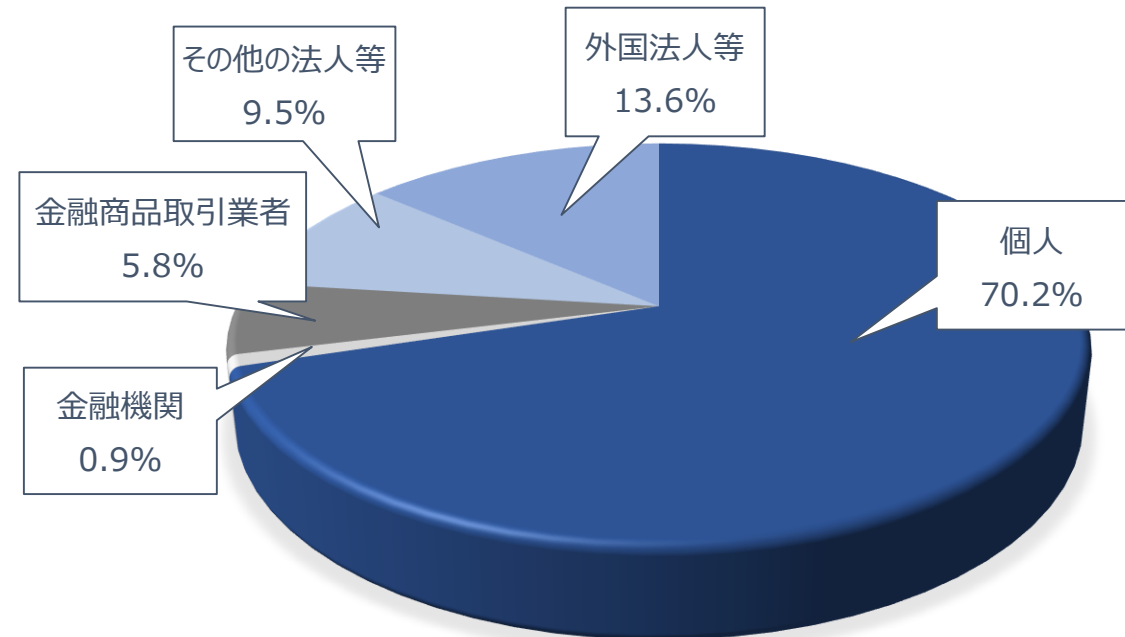
- ✓ 2018年2月の株式分割（1株 → 10株）により、株式所有者数が7,468名（前年同期末比：356.5%増）に増加。
- ✓ 2019年1月末における所有者別の株式数構成比は、個人が70.2%を占める。

株式所有者数

（単位：名）

所有者別	個人	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人等	外国法人等	合計
2018年1月末	1,582	1	16	18	19	1,636
2019年1月末	7,352	1	26	46	43	7,468

2019年1月末における所有者別の株式数構成



事業別2019年1月期の取組み

Our greatest glory is not in never failing, but in raising up every time we fail.

1.投資銀行事業-投資銀行分野

- ✓ 2018年5月に株式会社ケイブ、同年7月に新都ホールディングス株式会社の第三者割当増資引受を実施。
(引受総額：約13億円)
- ✓ 市況環境の悪化等に伴い、2019年1月期においては当初見込んでいた売上高が大幅に縮小。

投資先企業	投資時期	投資期間	投資金額	
			新規株式	新株予約権*
株式会社ケイブ	2018年 5月	短期～中期	99.8百万円	102.3百万円
新都ホールディングス 株式会社	2018年 7月	短期～中期	449.8百万円	656.2百万円

(注) 新株予約権発行価額を含んだ実績値

2019年1月期における売上高が大幅に縮小
既存投資案件の支援活動及び売却活動を継続

2.投資銀行事業-クラウドファンディング分野①

- ✓ SAMURAI証券株式会社が運営するクラウドファンディングサイト「SAMURAI」のホームページを2018年3月に大幅リニューアル。
- ✓ SAMURAI ASSET FINANCE株式会社と連携し、**43本のファンド（約6.7億円）**を組成。



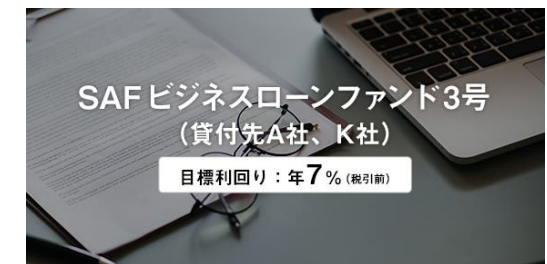
クラウドファンディングサイト
「SAMURAI」をリニューアル展開

✓ **2019年1月期組成ファンド数： 43本**

※2019年1月期中に募集し運用を開始したファンド数

✓ **2019年1月期累計投資金額： 約6.7億円**

※2019年1月期中に募集し運用を開始したファンドの投資金額

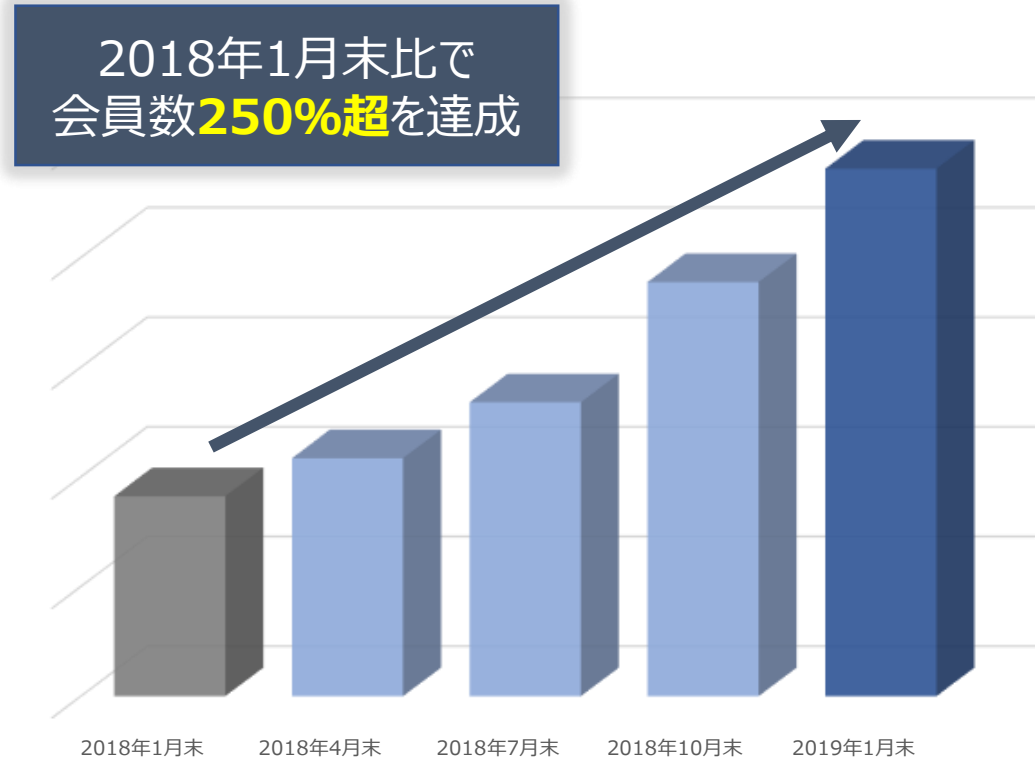


3.投資銀行事業-クラウドファンディング分野②

- ✓ クラウドファンディングサイト「SAMURAI」における会員数拡大・商品拡充に向けたプロモーション活動・キャンペーン・セミナーを実施。
- ✓ SAMURAI証券株式会社買収時の業績計画は未達であるものの、**会員数は計画値を上回り順調に推移。**

主なトピックス（2019年1月期）

- 2018年6月 : SeedIn Technology社との基本合意
(旧社名 : NEW UNION (SINGAPORE) INVESTMENT)
- 2018年6月 : 楽天LIFULLSTAY社との業務提携
- 2018年11月 : 大阪デザイナーズ民泊ファンド リリース
- 2019年1月 : GA technologies社との共同セミナー
- 他、メディア等への出稿・キャンペーン実施等



買収時の業績計画未達であるものの会員数は順調に推移

4.投資銀行事業-ノンバンク・不動産分野

- ✓ 2018年3月 SAMURAI ASSET FINANCE株式会社にて貸金業登録を完了し営業を開始。
- ✓ SAMURAI証券株式会社と連携してソーシャルレンディングに参入するなど、融資活動を積極的に実施した結果、**2019年1月末時点において融資残高は863百万円**と概ね順調に拡大。

主なトピックス（2019年1月期）

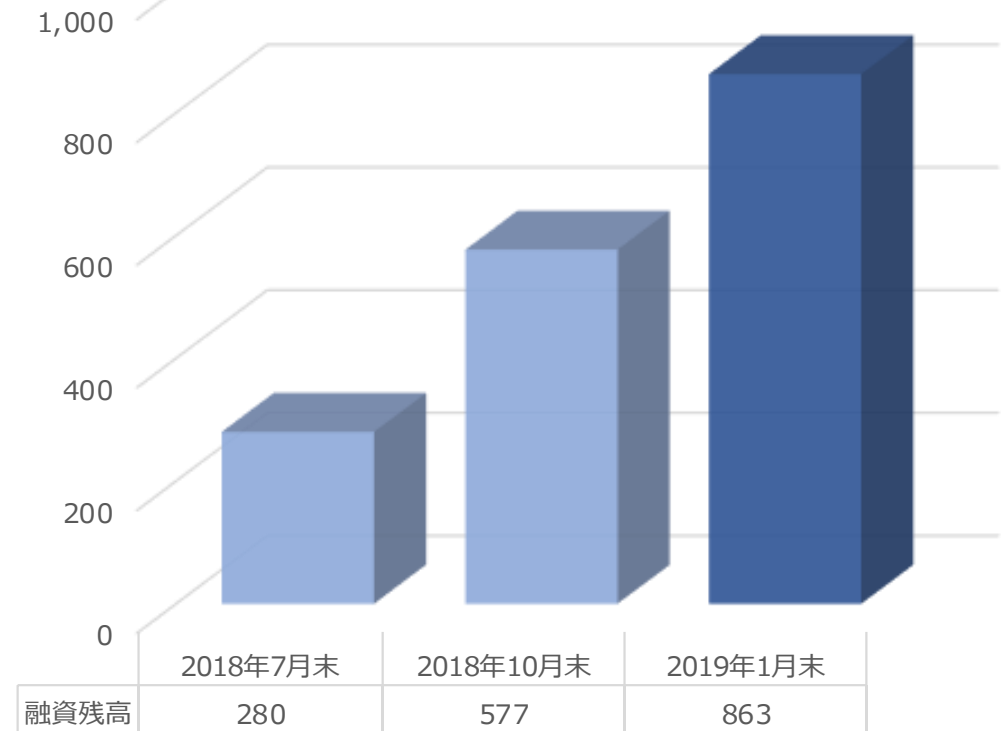
- 2018年3月：貸金業登録完了
- 2018年6月：宅地建物取引業登録完了
- 2018年7月：仮想通貨保有者向けの貸金事業「Samurai Crypto Loan」開始

不動産収益の状況

- 心斎橋の賃貸不動産（2017年6月取得）
→ 堅調に収益を計上

2019年1月末時点の
融資残高は**863百万円**

（単位：百万円）



5.投資銀行事業-その他

- ✓ 2018年7月にInitial Coin Offering(ICO)をはじめとした仮想通貨関連事業及び海外における投資銀行事業を目的とした海外法人「SAMURAI CAPITAL SINGAPORE PTE. LTD.」を設立。
- ✓ SAMURAI ASSET FINANCE株式会社にて2018年7月より「仮想通貨保有者向けの貸金事業」を開始。
- ✓ ICOをはじめとした仮想通貨関連事業については、今後、仮想通貨の市況及び国内外における規制等の状況を鑑み、慎重に進めていく想定。

6.ITサービス事業①

- ✓ SAMURAI TECHNOLOGY株式会社及びミドルウェアソリューションの「Fast Connector」シリーズのホームページを2018年12月に大幅リニューアルするとともに、WEB戦略の強化、顧客管理システムの構築など受注活動に注力。
- ✓ 大手自動車メーカーからの**追加ライセンスを受注**をはじめ、ミドルウェアのバージョンアップ、カスタマイズによる新規事業ドメインの中長期的な成長を目指し取組み中。



ミドルウェアソリューションサイト
「Fast Connector」シリーズをリニューアル展開

受託の運用・保守（安定収入の推進）

[新規事業ドメインの拡大]

- ✓ ミドルウェアバージョンアップ、カスタマイズ
- ✓ 大手企業への戦略的プロモーションの拡大



7.ITサービス事業②

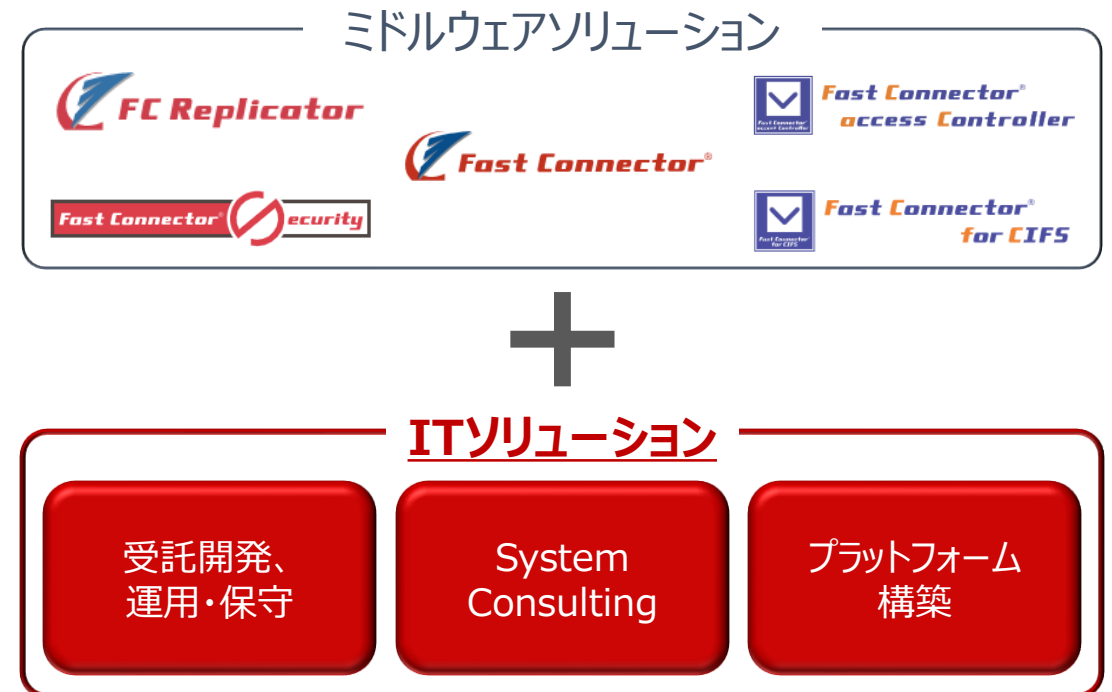
- ✓ 既存のミドルウェアソリューションである「Fast Connector」シリーズに加え、事業効率化 × システムコストダウンなどのシステムコンサルティングをはじめとした**ITソリューションのサービス領域拡大**に着手。
- ✓ 企業の底堅いITシステム投資を背景にシステム開発及び開発後におけるシステム運用保守の受注が堅調に推移。

主なトピックス（2019年1月期）

- 2018年7月：株式会社ヴィオの商号をSAMURAI TECHNOLOGY株式会社に変更
- 2018年11月：異種DBレプリケーションソフトウェア*「FC Replicator2」ライセンス追加受注及び、システム基本設計並びに環境構築を受注
- 2018年12月：「Fast Connector」シリーズのホームページリニューアル

（注）異なる種類のDB（データベース）間でも、リアルタイムにDBの複製を作成するソフトウェア高速通信技術を用いているので、遠隔地にDBの複製を作成することが可能

ITソリューションのサービス領域拡大

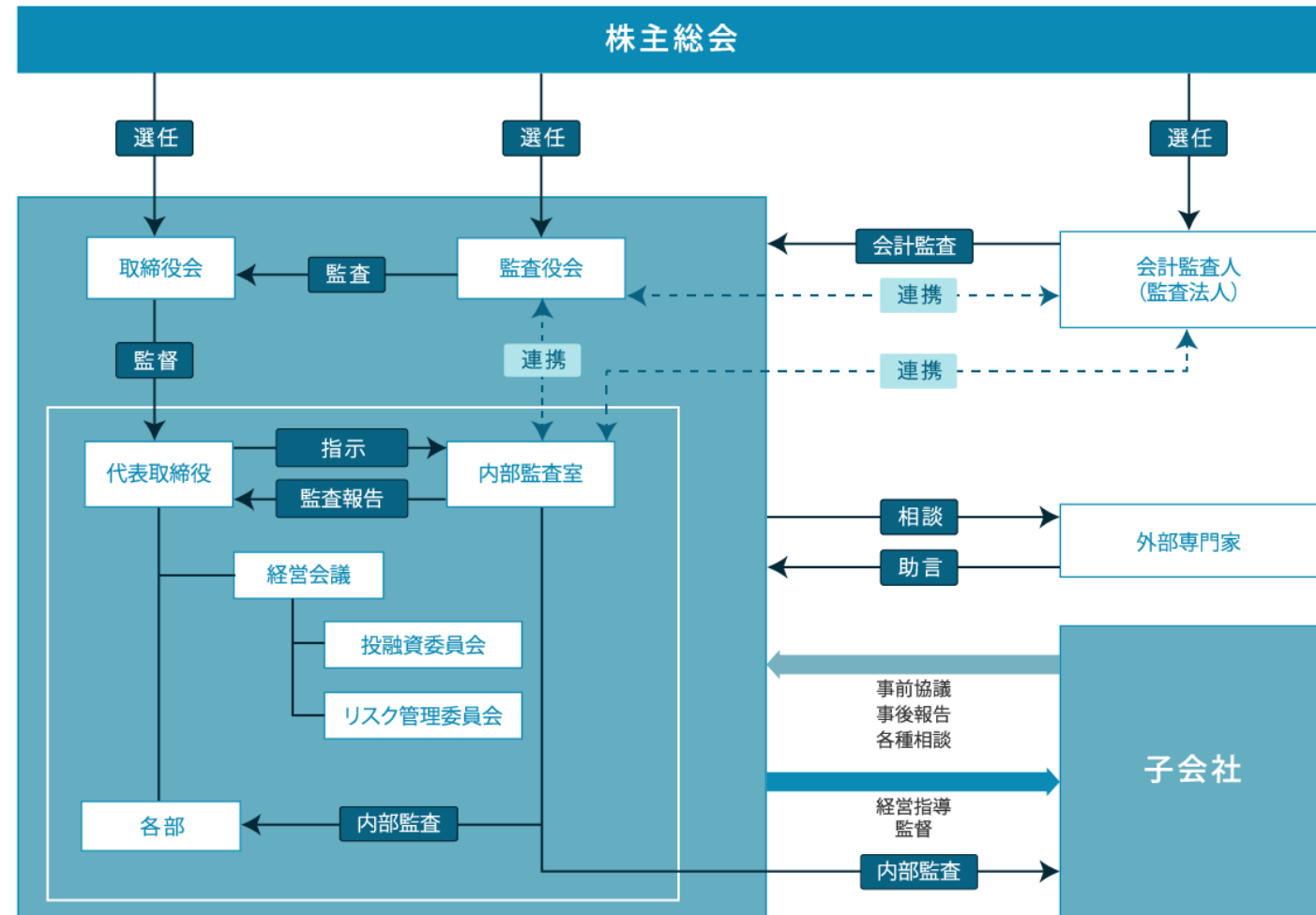


8.コーポレート・ガバナンス体制

- ✓ 当社管理部門の人員の充実化を図り、業務改善及び効率化、子会社連携に注力。
- ✓ 各種会議体を柔軟かつ積極的に実施し、スピーディーな意思決定を行う。

主な会議体の開催状況

会議体	回数
取締役会	19回
監査役会	12回
経営会議	42回
投融資委員会	経営会議内で実施
リスク管理委員会	1回



APPENDIX

Our greatest glory is not in never failing, but in raising up every time we fail.

事業別2020年1月期以降の取組み

- ✓ 2020年1月期以降は、投資銀行事業及びITサービス事業の収益力向上を図るとともに、収益資産の取得・M&A等による安定収益基盤の形成及び2020年1月期における営業利益の黒字化を目指す。

投資銀行事業-投資銀行分野

- ✓ アライアンス強化 → 投資案件数拡大へ
- ✓ 新規・既存投資案件の支援活動及び売却活動による収益化

ITサービス事業

- ✓ 採用及び人材開発等によるSES及び受託開発・運用・保守の強化
- ✓ ミドルウェアソリューション領域の拡大による収益性向上

投資銀行事業-クラウドファンディング分野

- ✓ クラウドファンディング商品ラインナップの拡充（ファンド型等）
- ✓ 国内オンリーワンのポジション形成

その他-事業領域拡大

- ✓ 不動産をはじめとした収益資産の取得・M&A等による安定収益の確保

DISCLAIMER



本資料は、当社の事業及び業界動向についての現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。これらの予想等に関する表明は様々なリスクや不確実性を内包するものとなります。また、掲載された情報の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に掲載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。

本資料に関する問合せ窓口

経営管理部 IR担当

問合せページ : https://www.sajp.co.jp/ir_inquiry/